

久米南町家庭教育支援チーム「すまいる」始動！

久米南町では、全ての保護者が安心して子育てができるよう、保護者に寄り添い、地域のよさを生かした子育て支援を行う「家庭教育支援チーム」を今年度立ち上げ、活動をスタートさせています。大きな一歩を踏み出した久米南町家庭教育支援チーム「すまいる」の今後の活躍が楽しみです。

久米南町家庭教育支援チーム「すまいる」

- ★人数 11人（民生委員、児童委員、元教員、保健師等）
- ★対象 小・中学生のいる全家庭
- ★形態 アウトリーチ型
- ★活動 ①子育てに関する情報のお届け
②保健福祉課との連携
(保健師と教育委員会との情報共有)



チームリーダー 木多さん

各家庭への訪問をとおして、子育てをする保護者の皆さんの不安感や負担感を減らすために、ちょっとしたことでもお話を伺い、子育てのヒントを提供したいと思っています。
親も子も、そして、地域も含め みんなの「すまいる(笑顔)」が未来に続くよう活動していきたいと思っています。



子育てで困ったことを気軽に相談できない保護者もおられるんじゃないかなあ。

家庭状況も子育ての価値観も多様化する時代。久米南町に合った家庭教育支援のあり方を考えることが大切ですよね。

保護者と一緒に考える「寄り添った支援」を心がけたいですね。

久米南町の子どもは素直で落ち着いてますよね。社会に出てたくましく生きていける力を子どものうちから付けてもらいたいな。

チーム会での協議の様子

「アウトリーチ型家庭教育支援」とは？

アウトリーチ型家庭教育支援とは、保護者の居場所に向いて届ける支援のことです。久米南町では、家庭教育支援チーム員が各家庭を訪問し、子育てに関する情報をお届けしたり、保護者の皆さんから困り感等を伺ったりしながら、一人一人に寄り添った支援を行っていきます。

家庭教育支援の形は、管内10市町村でも様々です。今回のように、保護者の居場所まで支援を届ける「アウトリーチ型」のほかにも、子育てに関するテーマで保護者同士の学び・交流の場を提供する「研修型」、保護者同士が気軽に集って情報交換・つながりづくりのできる「サロン型」等があります。保健福祉課や医療、教育等の専門機関との連携を図ることで、情報提供や相談等に対して幅広い対応も可能になります。各市町村の実態に合った支援を進めていくことが重要です。